2020年3月期決算説明資料

2020年5月

株式会社エフテック

東証1部:7212

https://www.ftech.co.jp

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

新型コロナウイルスの影響について

F.tech

現時点において新型コロナウイルスの影響を合理的に算定し、将来予測をすることは困難であります。

したがって、今年度から開始する第14次中期3ヵ年経営計画の詳細な内容及び2021年3月期の業績予想につきましては未定としております。

今後業績予想等の策定が可能となった時点で速やかに公表させていただきます。

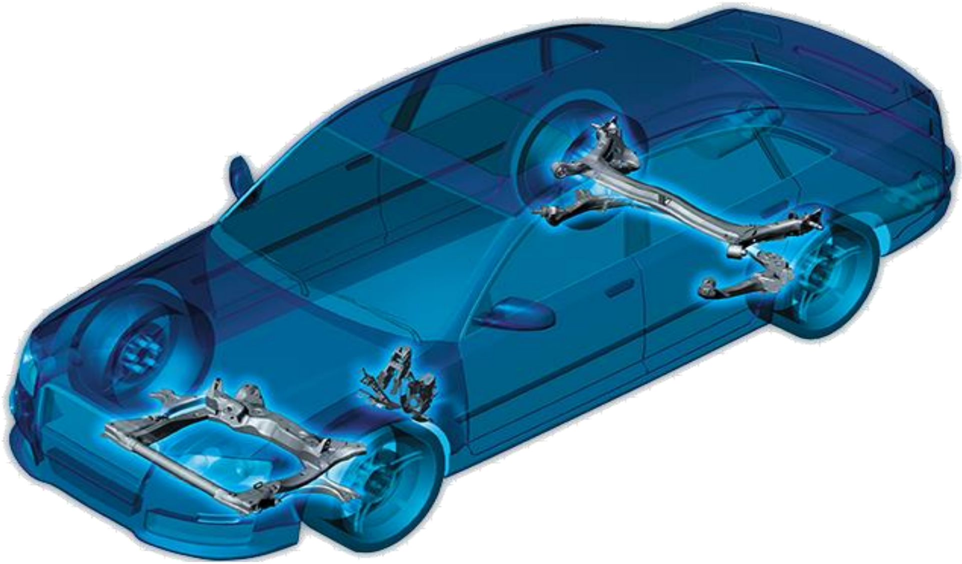
Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

目次

1. 決算概要

2. 経営戦略

3. トピックス



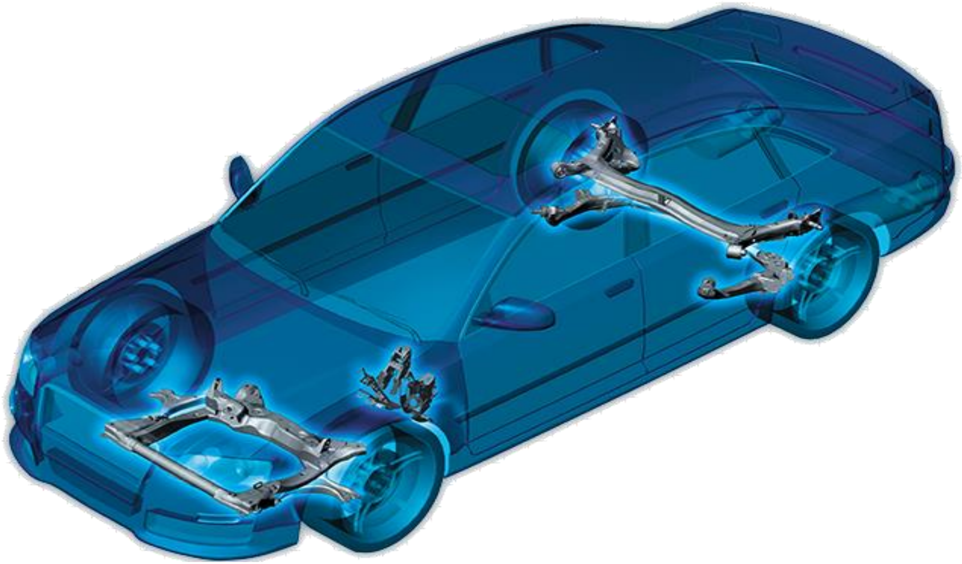
Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

目次

1. 決算概要

2. 経営戦略

3. トピックス



Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

連結決算概要(前年同期比)

（単位:百万円）

	2019年3月期 実績		2020年3月期 実績		増減	
売上高	235,361	100.0%	218,712	100.0%	▲16,649	▲7.1%
営業利益	6,580	2.8%	4,088	1.9%	▲2,492	▲37.9%
経常利益	5,968	2.5%	2,764	1.3%	▲3,204	▲53.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,844	1.2%	328	0.2%	▲2,516	▲88.5%
1株利益(円)	152.30	—	17.58	—	▲134.72	▲88.5%

為替

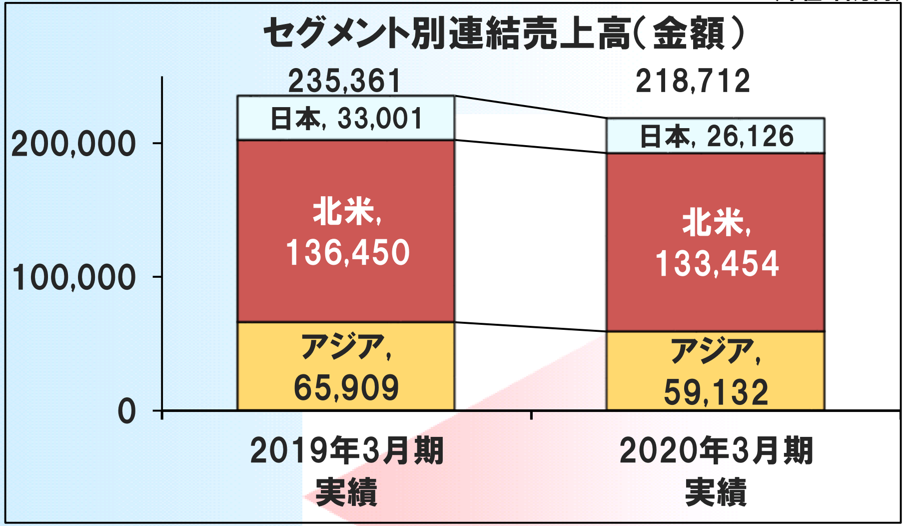
	2019年3月期	2020年3月期	増減額
1US$	111.08円	108.95円	▲2.13円
1CAN$	84.48円	81.67円	▲2.81円
1人民元	16.64円	15.82円	▲0.82円

減収減益(減収:受注減少及び為替影響、減益:減収影響及び新型コロナウイルス影響)

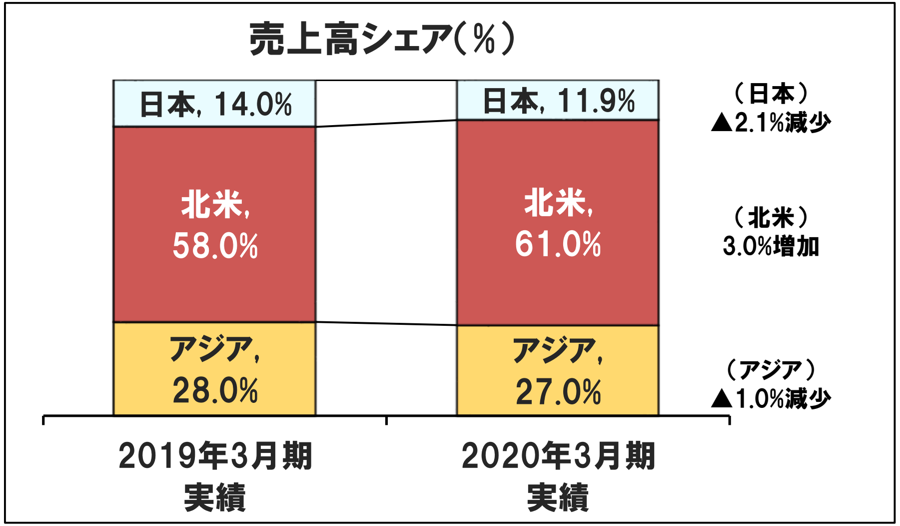
Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

連結売上高（前年同期比）

（単位：百万円）



（単位：%）



連結売上高増減

	'19年3月期	'20年3月期	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	33,001	26,126	▲6,875	▲20.8%	ー	▲6,875	▲20.8%
北米	136,450	133,454	▲2,995	▲2.2%	▲3,322	325	0.2%
アジア	65,909	59,132	▲6,776	▲10.3%	▲2,054	▲4,722	▲7.2%
連結	235,361	218,712	▲16,648	▲7.1%	▲5,376	▲11,272	▲4.8%

連結売上の88.1%が海外拠点。日本及びアジアが大幅減少。北米は新規受注の通年効果。

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

セグメント別営業利益（前年同期比）

F.tech

（単位：百万円）　（単位：%）

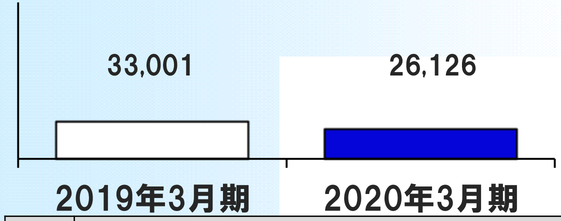
	金額				シェア		
	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減	増減率	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減
日本	921	▲683	▲1,604	▲174.1%	14.0%	▲16.7%	▲30.7%
北米	▲54	367	422	－	▲0.8%	9.0%	9.8%
アジア	5,275	4,365	▲909	▲17.2%	80.2%	106.8%	26.6%
合計	6,142	4,050	▲2,091	▲34.0%	93.3%	99.1%	5.7%
調整	438	37	▲401	▲91.5%	6.7%	0.9%	▲5.7%
連結	6,580	4,088	▲2,492	▲37.9%	100.0%	100.0%	-

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

セグメント別連結業績（日本）

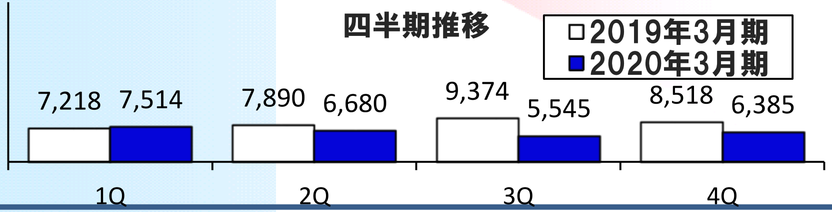
（単位：百万円）

売上高

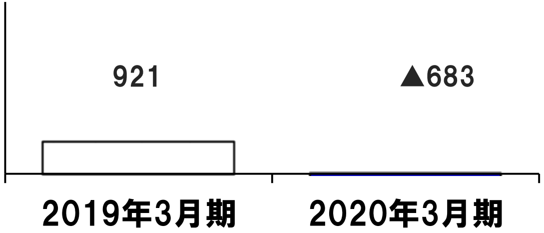


増減額	▲6,875
増減率	▲20.8%
為替影響	—
実質増減	▲6,875
増減率	▲20.8%

	増減理由	
1	主要得意先への製品売上減少等	▲6,790
2	商品売上増加（Gr向け金型設備売上増加）	2,620
3	技術収入売上（ロイヤリティー、開発費、他）	▲533
4	国内子会社売上減少	▲958
5	内部売上控除（Gr会社向け売上減少影響）	▲1,215
	合計	▲6,875

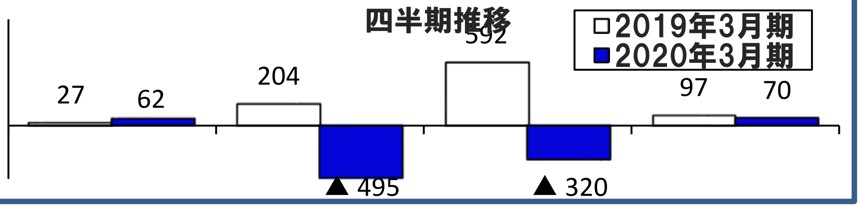


営業利益



増減額	▲1,604
増減率	▲174.1%
為替影響	—
実質増減	▲1,604
増減率	▲174.1%

	増減理由	
1	製品売上減少影響	▲1,207
2	商品売上増加（Gr向け金型設備売上増加）	233
3	技術収入売上（ロイヤリティー、開発費、他）	▲557
4	国内子会社売上減少	▲4
5	販管費、他	▲70
	合計	▲1,604



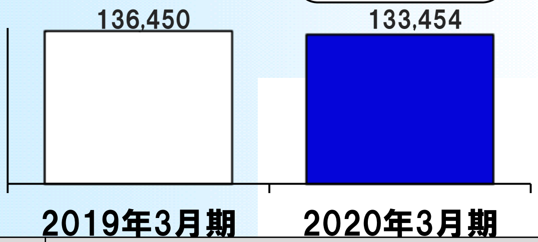
減収減益（減収：主要得意先の生産減少、減益：減収影響及びロイヤリティー減少など）

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

セグメント別連結業績(北米)

（単位:百万円）

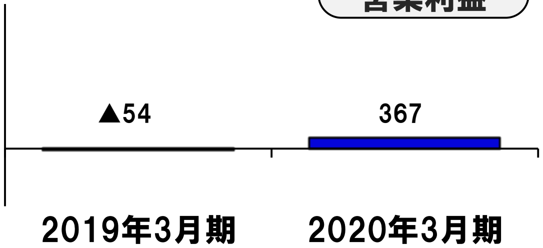
売上高



増減額	▲2,995
増減率	▲2.2%
為替影響	▲3,322
実質増減	325
増減率	0.2%

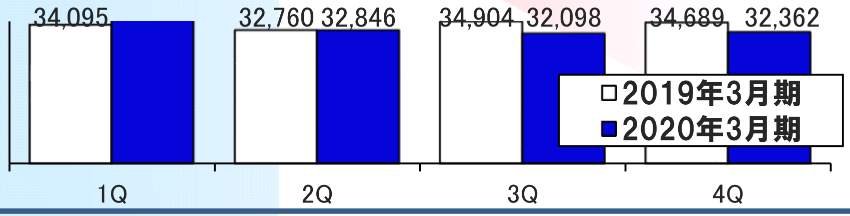
	増減理由	
1	ホンダの受注減少	▲4,133
2	Teslaの受注増加	3,468
3	その他得意先受注の増減影響	1,995
4	商品売上減少	▲1,004
5	為替換算影響	▲3,322
	合計	▲2,995

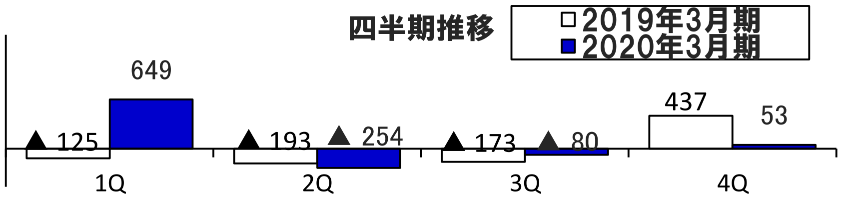
営業利益



増減額	422
増減率	▲773.8%
為替影響	▲7
実質増減	429
増減率	▲786.5%

	増減理由	
1	製品売上の増減影響	614
2	商品売上減少	▲262
3	GMスト、新型コロナウイルス、前期SEC232解消	▲105
4	原価低減、その他	182
5	為替換算影響	▲7
	合計	422





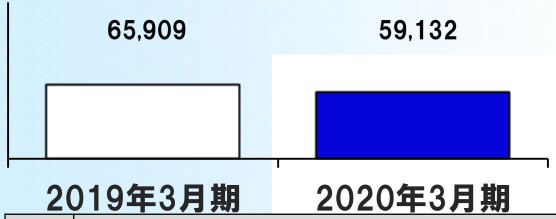
減収増益(売上:HM減少を他販でカバー、利益:前期悪化影響解消も新型コロナウイルス影響が押下げ)

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

セグメント別連結業績（アジア）

（単位：百万円）

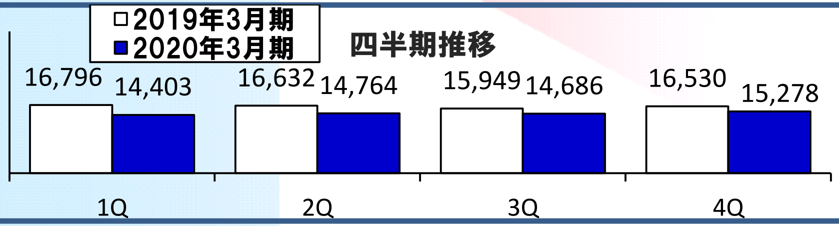
売上高



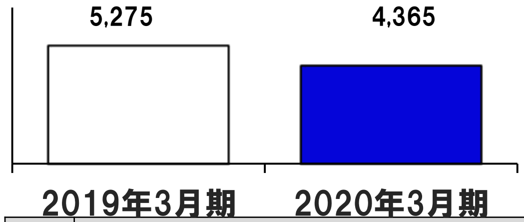
増減額	▲6,776
増減率	▲10.3%
為替影響	▲2,054
実質増減	▲4,722
増減率	▲7.2%

	増減理由	
1	（中国）主要得意先製品売上減少	▲1,658
2	（ア大）主要得意先製品売上減少	▲3,065
3	為替換算影響	▲2,054
	合計	▲6,776

四半期推移



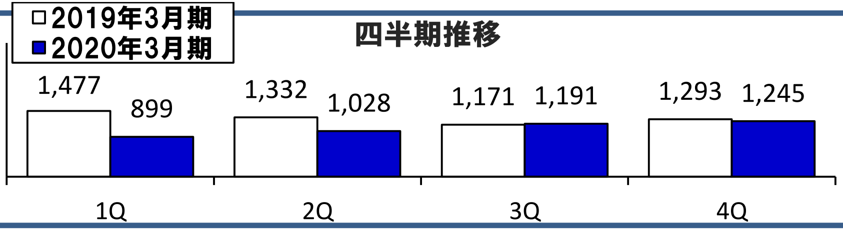
営業利益



増減額	▲909
増減率	▲17.2%
為替影響	▲217
実質増減	▲691
増減率	▲13.1%

	増減理由	
1	（中国）主要得意先製品売上減少	▲200
2	（中国）投資に対する補助金	139
3	（ア大）主要得意先製品売上減少	▲631
4	為替換算影響	▲217
	合計	▲909

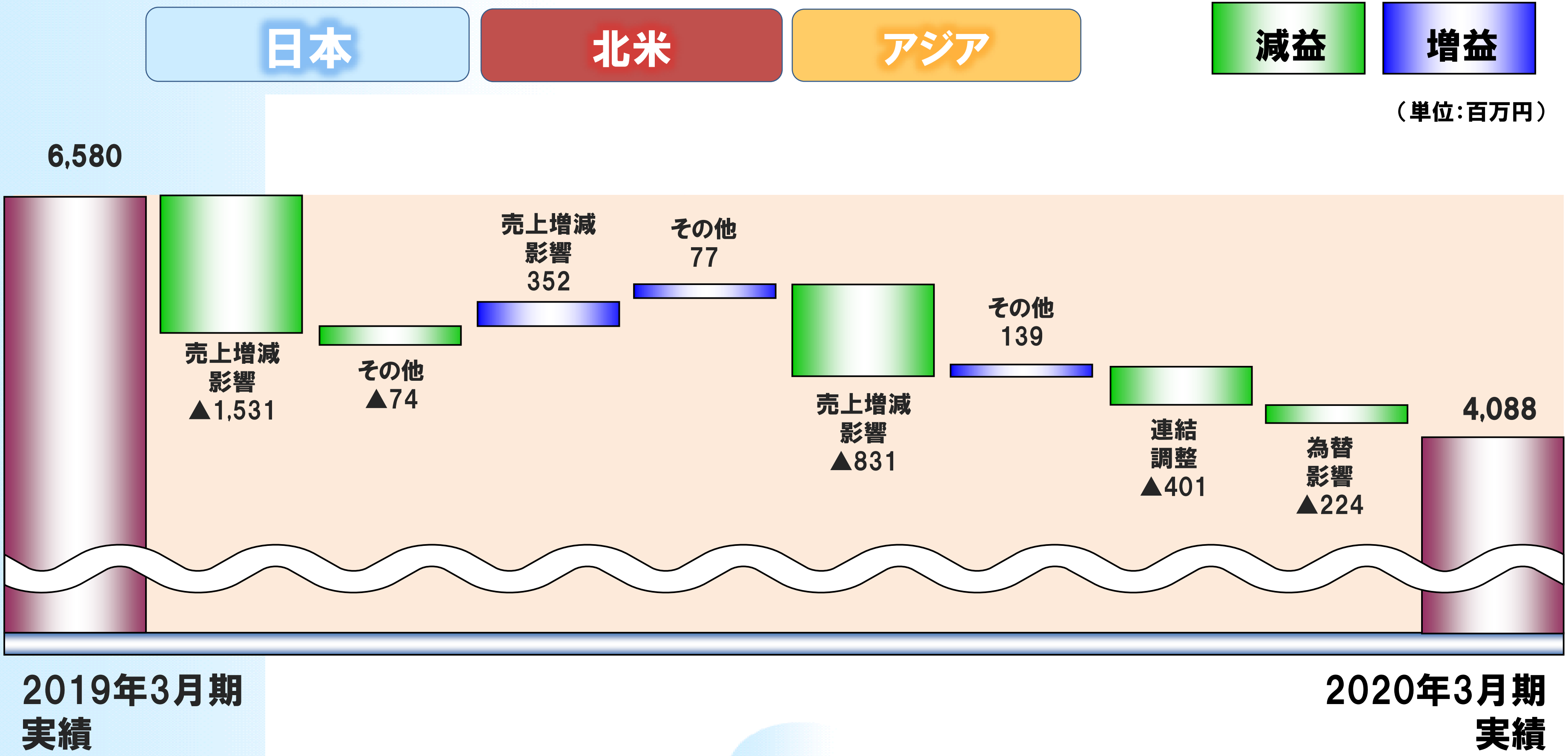
四半期推移



減収減益（減収：主要得意先の生産減少（車種構成の変化）及び為替影響、減益：減収影響）

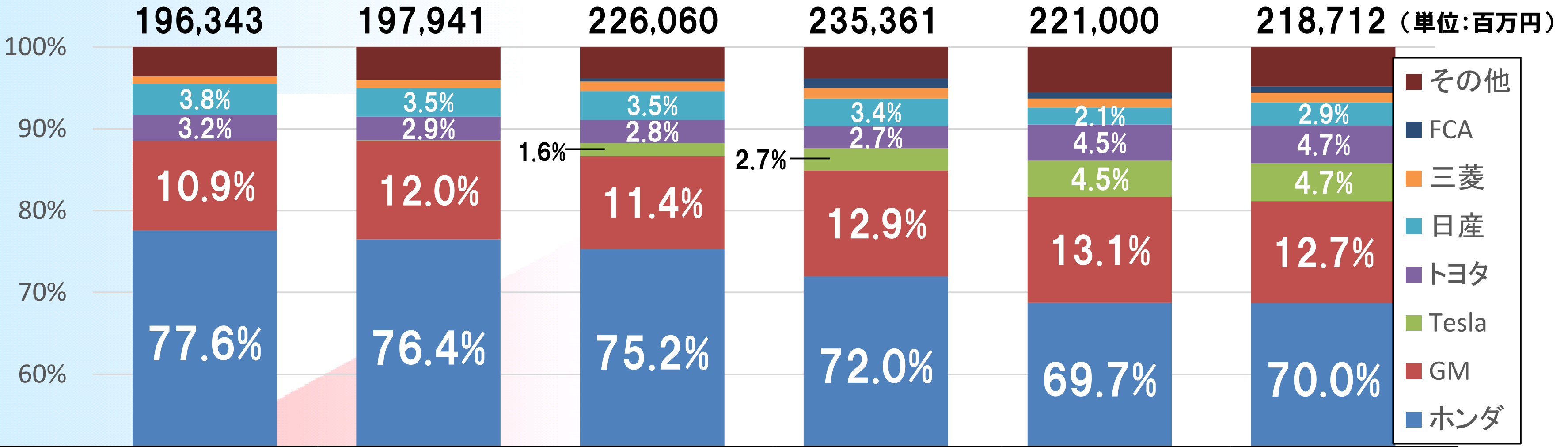
Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

営業利益増減要因



Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

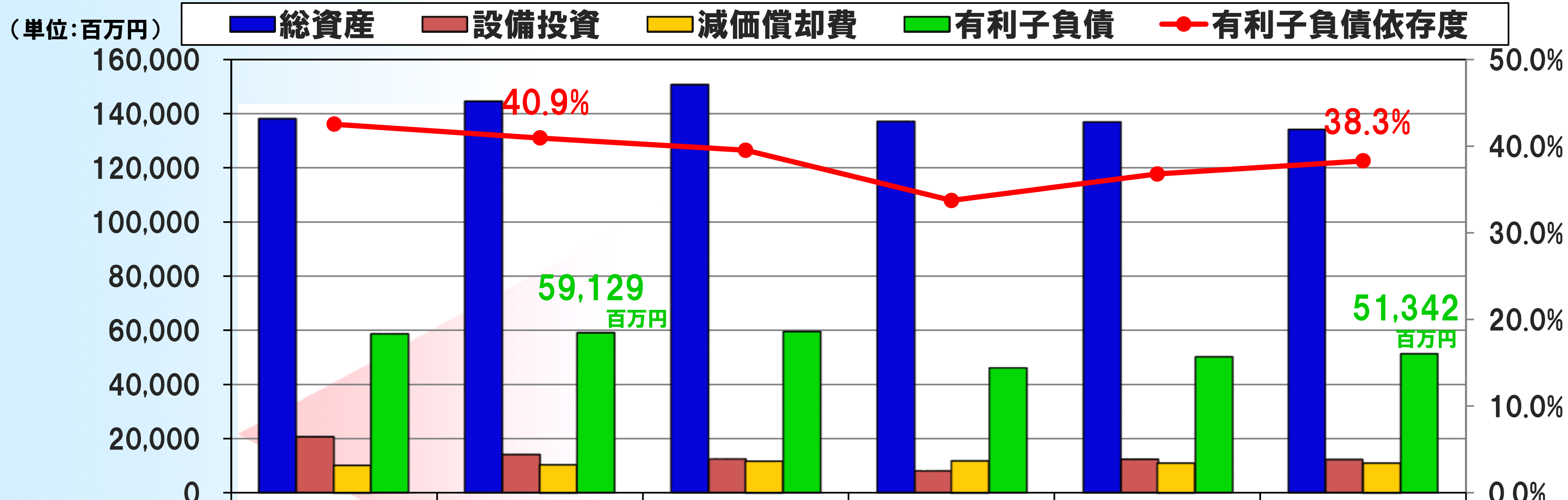
得意先別売上高の推移



	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期計画	20/3期実績
ホンダ	152,435	151,282	170,089	169,512	154,074	153,004
GM	21,345	23,683	25,782	30,258	28,929	27,719
Tesla	―	247	3,661	6,443	10,055	10,211
トヨタ	6,204	5,658	6,428	6,300	6,828	6,471
日産	7,435	6,985	7,957	7,977	4,543	6,275
三菱	1,803	2,036	2,648	3,051	2,457	2,597
FCA	―	71	1,010	2,913	1,761	1,686
その他	7,121	7,979	8,485	8,907	12,353	10,749
	196,343	197,941	226,060	235,361	221,000	218,712

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

財務の状況



	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期計画	20/3期実績
総資産	137,980	144,420	150,525	137,010	136,717	134,038
設備投資	20,578	14,094	12,435	8,056	12,374	12,238
減価償却費	10,081	10,335	11,666	11,720	10,944	10,890
有利子負債	58,686	59,129	59,510	46,220	50,296	51,342
有利子負債依存度	42.5%	40.9%	39.5%	33.7%	36.8%	38.3%

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

配当金の状況

2020年3月期予定

	1Q末	2Q末	3Q末	4Q期末	合計	配当性向
2020年3月期 配当予定	**－**	**10円00銭**	**－**	**10円00銭**	**20円00銭**	**113.7%**
(ご参考)2019年3月期 ※株主総会決議事項	－	10円00銭	－	10円00銭	20円00銭	13.1%
前期比 増減	－	－	－	－	－	100.6%

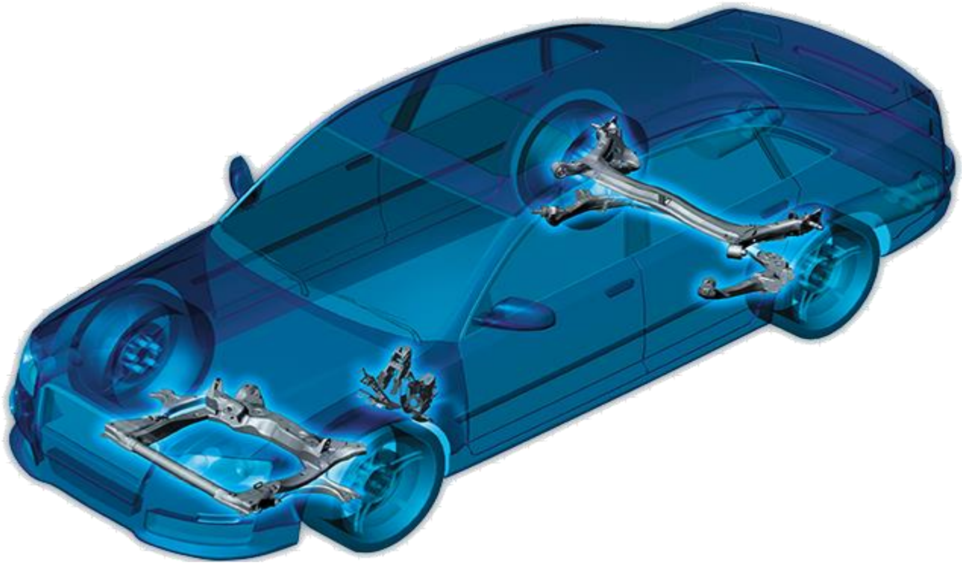
配当方針

当社の利益配分に関する基本方針は、業績に基づく利益還元を基本としています。
財務体質の強化を図りながら利益の状況、将来の事業展開など長期的な視野に立って皆様への利益還元を図ってまいります。配当性向の当面の目途を親会社株主に帰属する当期純利益の10％以上とし、中間、期末の年2回を基本としております。

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

目次

1. 決算概要
2. 経営戦略
3. トピックス



Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

前中期3カ年経営計画　振り返り～基本方針～

F.tech

会社方針 Back to Basics,Challenge for New

2017/3月期	2018/3月期	2019/3月期	2020/3月期

実績
- 連結売上高 1,979億円
- 営業利益率 4.1%
- 有利子負債依存度 40.9%

健全なる財務体質 高収益企業の実現

目標
- 連結売上高 2,120億円
- 営業利益率 5.0%
- 有利子負債依存度 35.0%

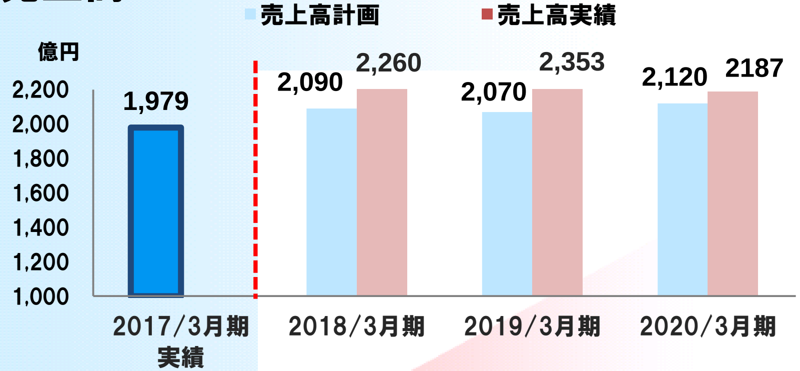
Back to Basics
- お客様に最高の価値を提供する
- 生産拠点は、利益を最大化する
- 機能組織は、コストの最小化と生産拠点へ価値を提供する
- 健全な財務体質を構築する

Challenge for New
- 新規重要顧客を獲得、拡大する
- 画期的新製品を提案する
- 新技術・新加工方法を確立する
- 新規事業の企画・推進

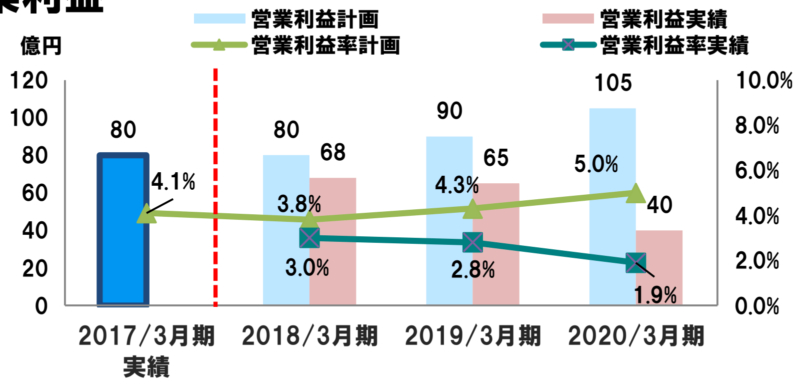
Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

前中期3カ年経営計画　実績　～経営目標～

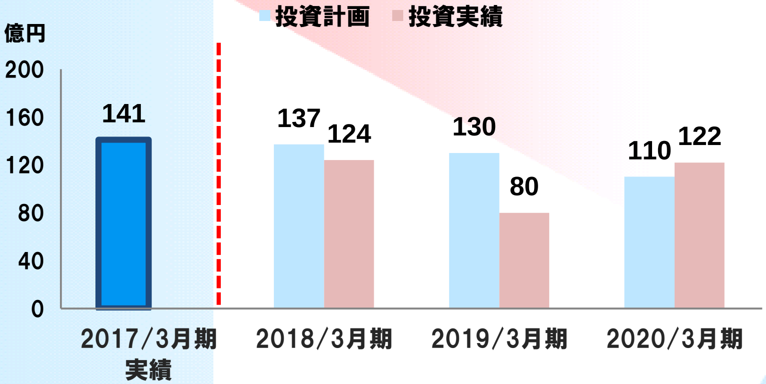
売上高



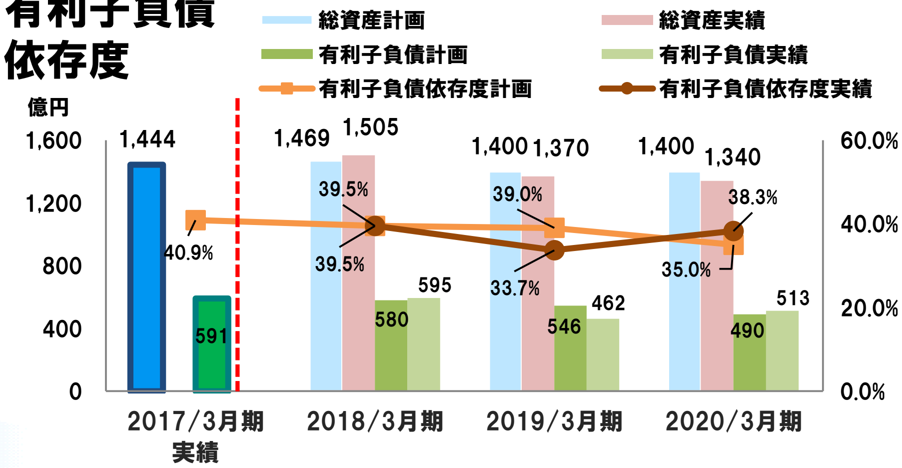
営業利益



投資計画



有利子負債依存度



Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

前中期3カ年経営計画　実績　～3年目計画対実績～

第13次中期3ヵ年経営計画　3年目計画対実績

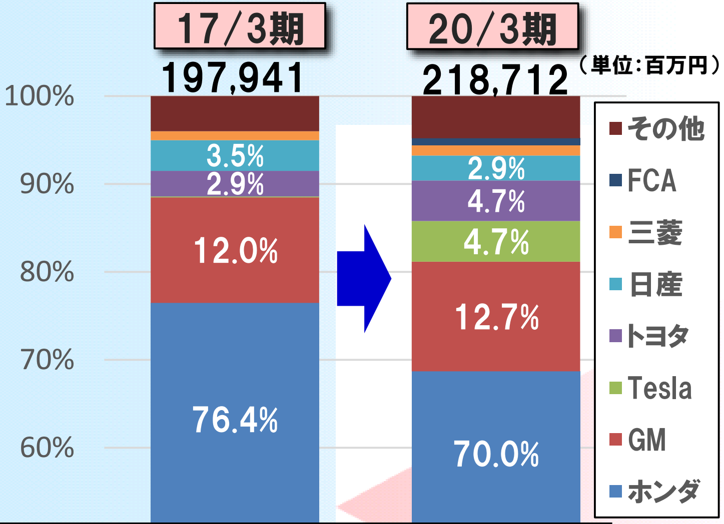
（億円）	中期経営計画3年目	2020年度実績	達成
売上高	2,120	2,187	○
営業利益	105	40	×
投資計画	110	122	△
有利子負債額	490	513	△
有利子負債依存度	35.0%	38.3%	△

売上高は計画通り。投資計画、有利子負債額、有利子負債依存度もほぼ計画通りの実績。ただし、営業利益は計画比大幅未達であり課題解決中。

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

前中期3カ年経営計画　実績　～得意先別売上高の推移～

F.tech



	17/3期	20/3期実績
ホンダ	151,282	153,004
GM	23,683	27,719
Tesla	247	10,211
トヨタ	5,658	6,471
日産	6,985	6,275
三菱	2,036	2,597
FCA	71	1,686
その他	7,979	10,749
	197,941	218,712

	17/3期	⇒	20/3期
売上高（百万円）			
ホンダ	151,282	↗	153,004
他販	46,659	↗	65,708
シェア			
ホンダ	76.4%	↘	70.0%
他販	23.6%	↗	30.0%

他販拡大に成功
ホンダの売上高を伸ばしつつ他販比率も増加

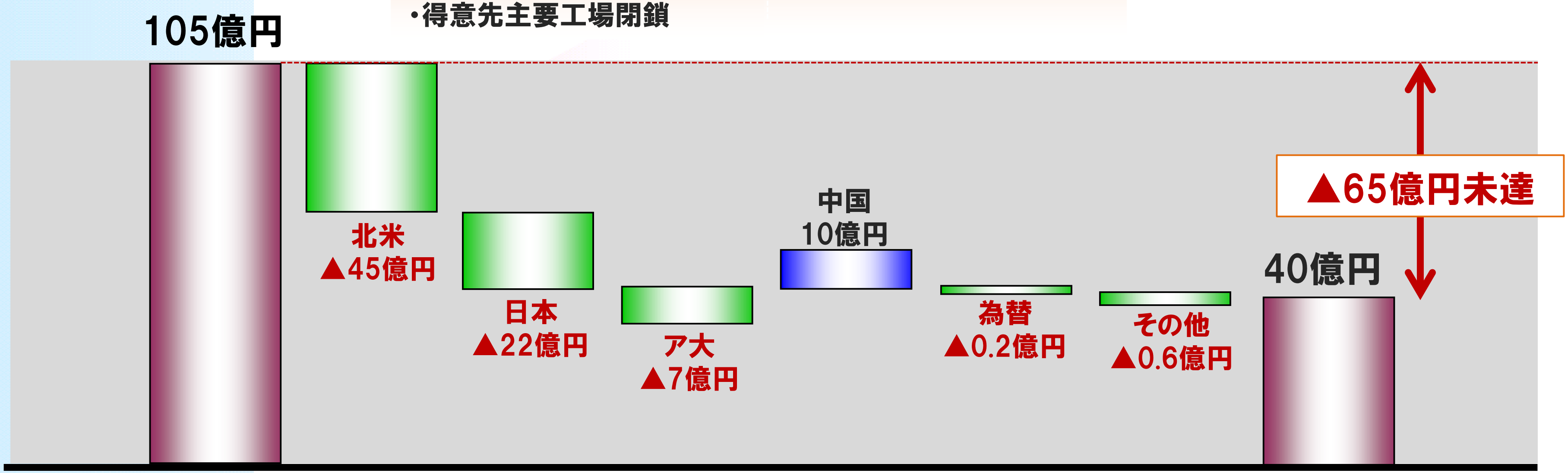
Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

前中期3カ年経営計画　実績　～営業利益額目標とのGAP ～

F.tech

営業利益額セグメント別の増減要因

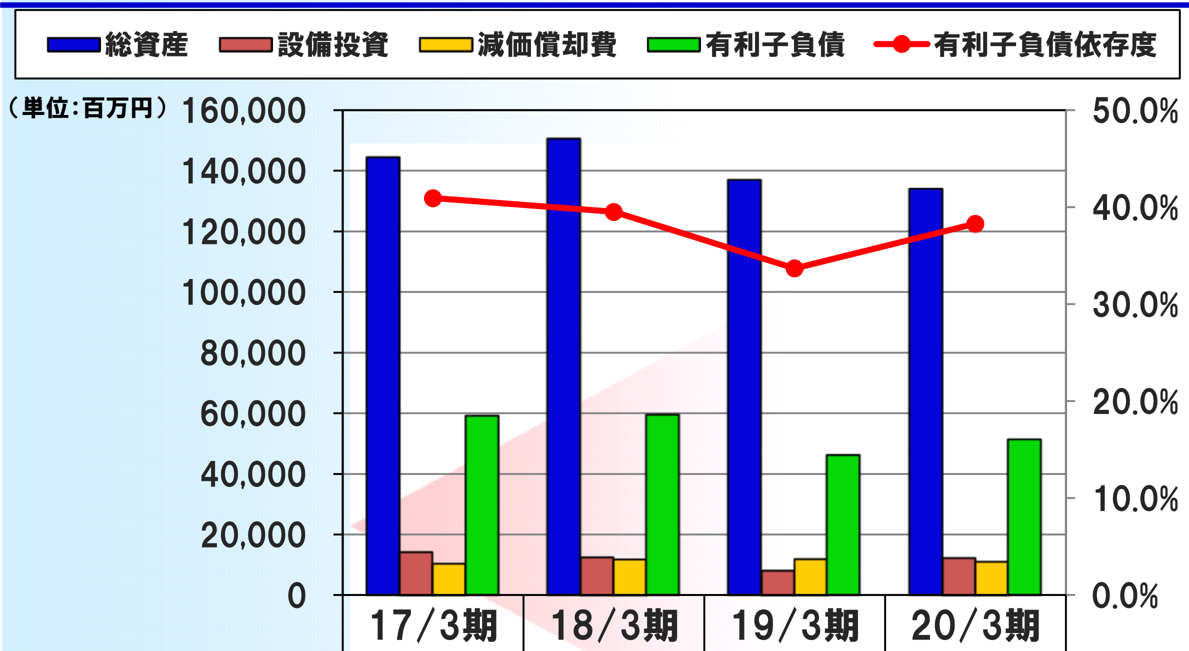
2020年3月期 営業利益目標	外部環境変化	内部環境変化	2020年3月期 営業利益
	・自動車市場の変化、伸び悩み ・労働市場逼迫 ・米中経済鈍化の兆し ・得意先主要工場閉鎖	・北米拠点の生産性悪化	



北米の生産性改善・利益力の強化及び日本・ア大の減収への対応が急務

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

前中期3カ年経営計画　実績　～財務の状況～



	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期
総資産	144,420	150,525	137,010	134,038
設備投資	14,094	12,435	8,056	12,238
減価償却費	10,335	11,666	11,720	10,890
有利子負債	59,129	59,510	46,220	51,342
有利子負債依存度	40.9%	39.5%	33.7%	38.3%

設備投資

- 新機種受注に伴う投資
- 増産対応のための能力拡充

⇒3ヵ年Ave.：109億円
3ヵ年償却費Ave.114億円の範囲内

有利子負債増加理由

- 新リース会計適用に伴うリース債務増加（約13億円）
- 新型コロナウイルスの感染拡大影響に備えた手元流動性確保（約25億円（北米））

⇒有利子負債実質残高475億円
目標490億円以下

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

前中期3カ年経営計画　実績　～北米地域の状況～

発生した問題	課題	対応策	ここまでの取組
コストアップ 労務費・外注費＋付随	コスト削減	物流改善 外注の内製化 要員削減	● 倉庫の集約、ライン変更→工場内導線効率化 ● 2019年度に外注内製化を徐々に推進 ● 効率化、物流改善を進めることで徐々に削減。
ロスの増加 仕損/追加検査の発生	ロスの削減	製造精度改善 仕損の削減進展	● 日本の技術者派遣・指導展開 ⇒熟練者育成(金型のメンテナンス等) ● プレス精度向上策を展開しロスを削減
生産効率低下 更なる外注の発生	生産効率アップ	作業者の能力向上 自動化推進	● 日本のサポート要員による教育実施。 ● 契約社員を正社員化 ● 溶接ラインを一部自動化(検査、部品払出部)

収支の悪化 ➤ **各種改善策を進め徐々に効果発揮中**
得意先等の生産変化、外部環境変化あり

改善途上

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

前中期3カ年経営計画　実績　～日本地域、ア大地域の状況～

F.tech

発生した問題	収支への影響	課題及び取組
販売台数の伸び悩み	売上高の伸び悩み	● 現調化の動きへの対応⇒既存先に拡販展開 ● 新規顧客の開拓 ● 収益源泉の多様化　⇒新規事業の創出
生産ラインの稼働率低下	固定費比率の上昇 減価償却負担の増加	● 固定費の削減（倉庫集約その他） ● 投資の削減
労働集約型オペレーション	労務費用の増加	● 間接業務の効率化 →業務統合による生産性向上 ● 生産ラインの効率化→直接要員の削減 ● 継続的改善活動　→自動化、効率化推進

日本・ア大地域においても拡販を促進しつつ
固定費・その他経費の削減、各種効率化を図り、稼ぐ力の向上を図る。

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

第14次中期経営計画 ～基本方針～

F.tech

第13次中期経営計画

健全な財務体質改善

フリーキャッシュフロー
運営の強化

有利子負債依存度
ほぼ目標達成

高収益力の実現

顧客多様化により
売上高の増加は実現

＜事業環境変化＞
・貿易環境・自動車市場変化
・労働市場逼迫

＜内部環境変化＞
・生産効率低下、コスト高

収益力向上は厳しい結果

第14次中期経営計画

全社方針 ： 限界突破！世界中のお客様へこだわりのBest Oneを

66期（FY2020） | 67期（FY2021） | 68期（FY2022）

グループ効率の
最大化を図る

目標
・生産性 要員効率
前年比▲1ポイント
・効率性 自動検査装置実績確認
・収益性 対売上廃却仕損費
（品質含）前年比0.1%未満
・FCF 黒字化

エフテックGr全世界の全員が持つべき共通姿勢
Better than Ever

Back to Basics
～こだわりを極め～
●全拠点の黒字化
●シミュレーションの進化
●国内の再生

Challenge for New
～新たな価値創造へ挑戦～
●新たな柱となる顧客を確立
●新たな地域への挑戦
●新たなビジネスの創出

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

新型コロナウイルスの影響に伴う状況について

5月11日時点

日本

拠点	得意先動向		生産状況	雇用状況
	生産	再開予定	出荷/業務	雇用(直/間)
久喜	×	・GW明けを予定	・得意先の状況に合わせ出荷 ・海外注文分の生産は通常稼働、その他、状況に応じてライン単位で臨時休業	・間接部門は在宅勤務、時差出勤によるシフト制で対応
亀山	△	・一時的な生産休止はあったものの通常稼働	・得意先の状況に合わせて出荷	・ライン稼働状況に応じ出勤調整 ・間接部門は在宅勤務、時差出勤によるシフト制で対応

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

新型コロナウイルスの影響に伴う状況について

北米

5月11日時点

拠点	得意先動向		生産状況	雇用状況
	生産	再開予定	出荷/業務	雇用(直/間)
カナダ	×	・3月下旬から停止 ・5月中旬～下旬まで停止延長	・得意先に合わせ停止 ・5月中旬再開に向けて準備中	・レイオフが基本 ・状況に応じ再雇用
アメリカ	×	・3月下旬から停止 ・5月中旬から一部再開と 一部5月中旬まで停止延長	・得意先に合わせ停止 ・特定業務を対象に一部出勤 ・生産再開に向けて環境整備	・レイオフが基本 ・一部有休 ・階層別に対応
メキシコ	×	・3月下旬から停止 ・5月中旬まで停止延長	・得意先に合わせて停止 ・5月中旬再開に向けて準備中 但し、外出禁止の除外業種に入っていないため、自動車メーカーと政府にて交渉中	・雇用継続

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

新型コロナウイルスの影響に伴う状況について

5月11日時点

中国、アジア

拠点	得意先動向		生産状況	雇用状況
	生産	再開予定	出荷/業務	雇用(直/間)
中国	○	・既に再開済み ・4月、5月フル生産対応の要求	・得意先の生産状況に合わせて生産活動を開始	・中山工場は駐在員含め事務部門は全員出社 ・武漢工場は駐在員を除く全従業員出社
タイ	△	・3月下旬から停止 ・得意先により5月上旬から再開と5月いっぱい停止に分かれる	・得意先の生産状況に合わせて生産停止 ・一部5月初旬～中旬まで生産停止	・雇用継続 ・自宅待機
フィリピン	×	・3月下旬から停止 ・5月中旬まで停止延長	・得意先に合わせて停止 ・一部輸出分に関して出勤対応	・雇用継続 ・出勤は不可
インドネシア	×	・4月上旬から停止 ・6月再開予定	・得意先に合わせて停止	・雇用継続 ・自宅待機

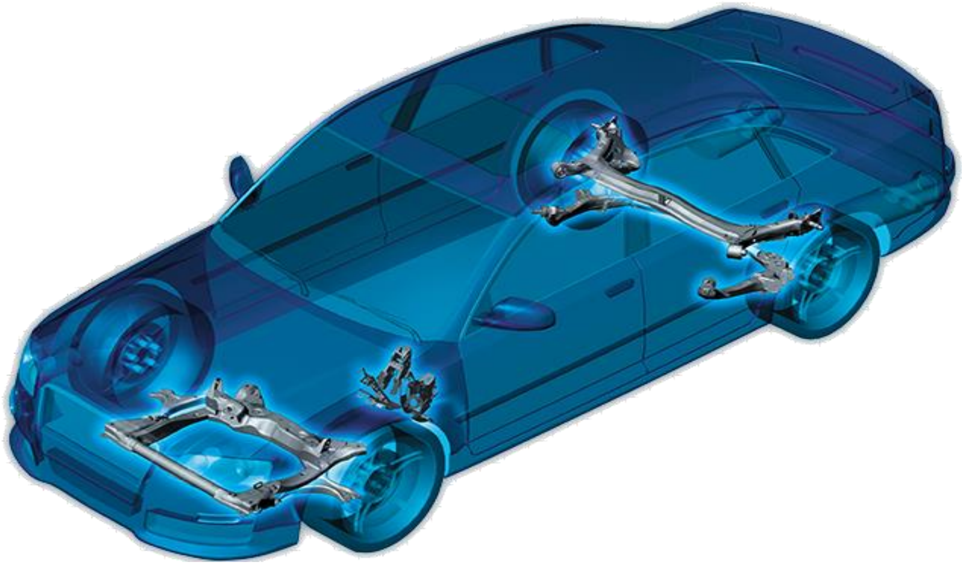
Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

目次

1. 決算概要

2. 経営戦略

3. トピックス



Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

受注・生産状況 ～2020年3月期生産開始新機種～

F.tech

※一部のみ表記

HONDA / GM / T社 / NISSAN / MITSUBISHI / SUZUKI

		1Q	2Q	3Q	4Q
HONDA	日本		FREED	FIT系	ホンダ e (EV)
	北米	RDX, INSIGHT			
	中国	CIVIC, XR-V	ELYSION, XR-V 流用車種	CR-V 兄弟車, AVANCIER	CRIDER
	ア大	Accord		CITY	
General Motors	北米	Cadillacc CT5 GMC, Chevrolet	Buick Excelle 他, Cadillacc CTS	Buick Excelle 他	Chevorolet Cadillacc XT6
	中国		BUICK Excelle 他	K228（Kシリーズ）, K229（Kシリーズ）	Cadilac XT6, BUICK Excelle 他
OTHER	北米				T社
	中国	SILPHY			
	ア大		L300, ALTO		BREZZA

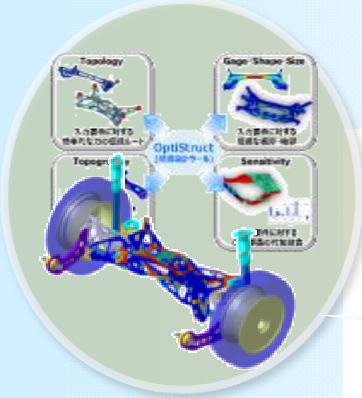
Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

トヨタ車向け足廻り部品の受注・生産

北米、日本、アジア地域で足廻り部品を受注！
今後とも関係を強化し、さらなる取引拡大に努める

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

研究・開発力



＜エフテックの独自開発技術＞

人のノウハウとシミュレーション技術を融合し最適設計を実現

OPTISTRUCT
（最適設計ツール）
LINER ANALYSIS
Crush：Abaqus
NV：NASTRAN

Sus Characteristic：ADAMS

設計精度の向上	軽量化の更なる向上	開発スピードの向上
・製品性能（強度・剛性・振動） ・製造領域（プレス・溶接・塗装） まで加味した設計を実現	空間梁解析 ↓ 強度・剛性・衝突性能と軽量化を両立	・試作機会の極少化 ・設計精度の向上 ↓ 開発期間2ヵ月短縮

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

素材メーカーとの共創

－材料進化－

適用グレード拡大（超ハイテン化）
590/780材 ⇒ 980/1180材

材料・工法に合わせた製品仕様/形状のアウトプット

- 衝突性能
- 剛性（操安/NV）
- 強度

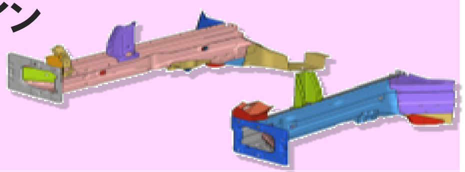
からの最適板組み

－加工技術
- 成形手法
- CAE/予測技術
- 材料知見
- 評価指標

ボディ骨格部品

◆材料
- 鋼板：高ハイテン薄板メイン（780～980Mpa級）

◆接合
- 抵抗溶接メイン（SPOT/Projection Weld）



Bodyメーカーとの共創

シャーシ足廻り部品

◆材料
- 鋼板：比較的厚板メイン（270～590Mpa級）

◆接合
- MIG溶接メイン（P.W.併用）

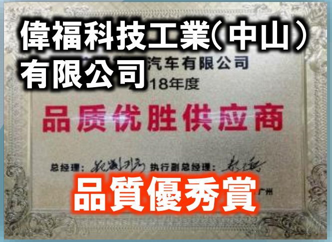
両社Know Howを融合
新たな価値提供への挑戦

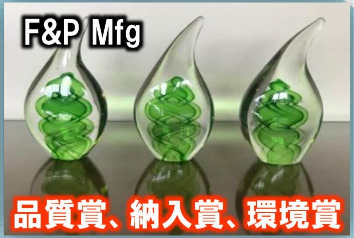
Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

持続的成長を支える取り組み　～CSR, ESG～

F.tech

【品質への取り組み】





F&P Mfg (Dyna-Mig)

サービスパーツ納入品質賞

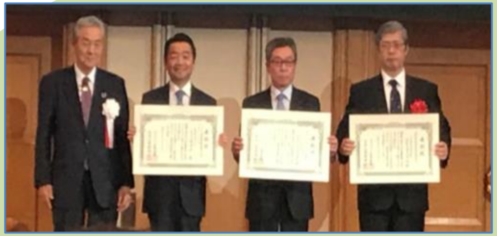
F&P MFG DE MEXICO,
S.A. DE C.V.

品質賞

F.TECH　PHILIPPNES
MANUFACTURING　INC.

デリバリー賞
コストパフォーマンス賞

【生産技術向上への取り組み】



「超」モノづくり部品大賞
モビリティ関連部品賞の受賞

文部科学大臣表彰
創意工夫功労者賞

Copyright (c)　2020 F-TECH INC. All Right Reserved

F.tech

【環境への取り組み】

2018年10月11日：シンガポール 環境省より「エネルギー効率国家パートナーシップ（EENP）賞2018」講演要請があり参加

EENP AWARDS 2018
INDUSTRIAL ENERGY EFFICIENCY SHARING SESSION

Global Ftech ENERGY Management System

令和元年度　彩の国埼玉環境大賞　事業者部門「奨励賞」受賞

「彩の国埼玉環境大賞」は、環境保全に関する意識の醸成及び行動の促進を図るため、個人、県民団体及び事業者による他の模範となる優れた取組を表彰するものです。

表彰を受けた活動

- エフテックの森林づくり活動
- 備前堀川清掃活動

埼玉県
エフテック森林づくり

備前堀川
クリーンアップ活動

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

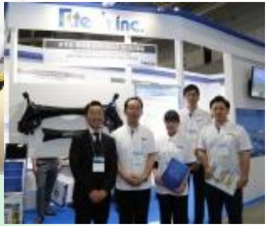
持続的成長を支える取り組み　～CSR, ESG～

【技術展への出展】

人とくるまのテクノロジー展 in横浜

5月22日～5月24日

- 場所：パシフィコ横浜
- 内容：ブース出展



他業種の方との交流

社内では当たり前の技術も
他にはマネのできない技術がある

具体的な案件へと進展

人とくるまのテクノロジー展 In名古屋

7月17日 ～ 7月19日

- 場所：ポートメッセなごや
- 内容：ブース出展

エフテックグループの"加工技術と金型技術"をPR
企業ブランドと認知度向上、新たなビジネスチャンスへ

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

持続的成長を支える取り組み　～CSR, ESG～

F.tech

【地域社会とのつながり】

メキシコ

亀山

三重県登録
みえの働き方改革推進企業

久喜

- 子供向けに文房具の配布
- 環境活動の一環として植木の実施
- 三重県知事が表敬訪問
- 「みえの働き方改革推進企業」認定
- 久喜事業所創業40周年

エフテックグループはグローバルで地域社会とつながり、人材育成支援、森林づくり、社会貢献等に取り組んでいます

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

持続的成長を支える取り組み　～CSR, ESG～

F.tech

人権への取り組み

【シニア活躍、介護・育児への対応】

くるみん

シニア活躍推進宣言
埼玉県

仕事と介護の両立支援

多様な働き方実践企業
埼玉県

三重県登録
みえの働き方改革推進企業

埼玉県ウーノマミクスサイトにて
働き方改革推進モデル企業として
掲載

社会貢献

【製造技術教育】

- 小学生の工場見学
- 高校生の現場実習
- 大学生の研究活動への協力
- 工業系の学校教員の研修支援
- 各種技術視察団に対する協力etc.

小学生の工場見学

【奨学財団】

- 37名の奨学生へ奨学財団より奨学金を給付

【地域の環境保全活動】

- 森林づくり・維持への参加
- 地域での清掃活動ETC

エフテックグループはESG,CSRの領域として、
人権への取り組み、社会貢献活動に取り組んでいます。

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

新型コロナウイルスの影響を受け～

- ✓ 2020年1月に発生した新型コロナウイルスの影響により世界各国で移動制限など感染拡大防止策がとられており、自動車業界においても自動車生産の停止及び自粛ムードによる自動車需要の低下の可能性が生じております。グローバルで事業を展開している当社グループにおいてもこうした影響を受け、製品生産・販売の停止が生じております。
- ✓ 当社グループとしては、新型コロナウイルスが沈静化し、得意先の量産が開始された際には迅速かつ柔軟に製品生産・販売が開始できるよう準備をしております。
- ✓ また、当社グループにおいては、従前よりコスト低減のため各地域で地産地消型の生産体制を進めると共に一部製品については生産を集約することで生産効率の最大化を図ってまいりました。今般の新型コロナウイルスの影響を踏まえ、今後一層、得意先への供給責任を果たせるようサプライチェーンを踏まえた生産体制の見直しを検討してまいります。
- ✓ また、今回の感染拡大の中、当社においてもリモートワークの推進、2交代制の勤務体制など新たな働き方を導入し対応しております。今後、新型コロナウイルスが沈静化した後においても、こうした多様な働き方に柔軟に適応できるようインフラを整備し社員の能力をフルに発揮できる働き方改革を推進してまいります。

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績と記述としている将来見通しは、大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

IR情報のお問い合わせ、取材申し込みは

株式会社エフテック　管理本部　総務部/経理部

代表TEL 0480-85-5211　Mail webmaster@ftech.co.jp

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix ～連結貸借対照表(2020年3月期末実績)～

F.tech

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減
現金及び預金	7,192	8,879	1,687
受取手形・売掛金	33,667	27,955	▲ 5,712
棚卸資産	17,728	19,093	1,365
その他	2,866	3,027	161
流動資産	61,453	58,956	▲ 2,497
有形固定資産	66,392	66,714	322
無形固定資産	343	363	20
投資その他資産	8,822	8,004	▲ 818
固定資産	75,557	75,081	▲ 476
総資産	137,010	134,038	▲ 2,972

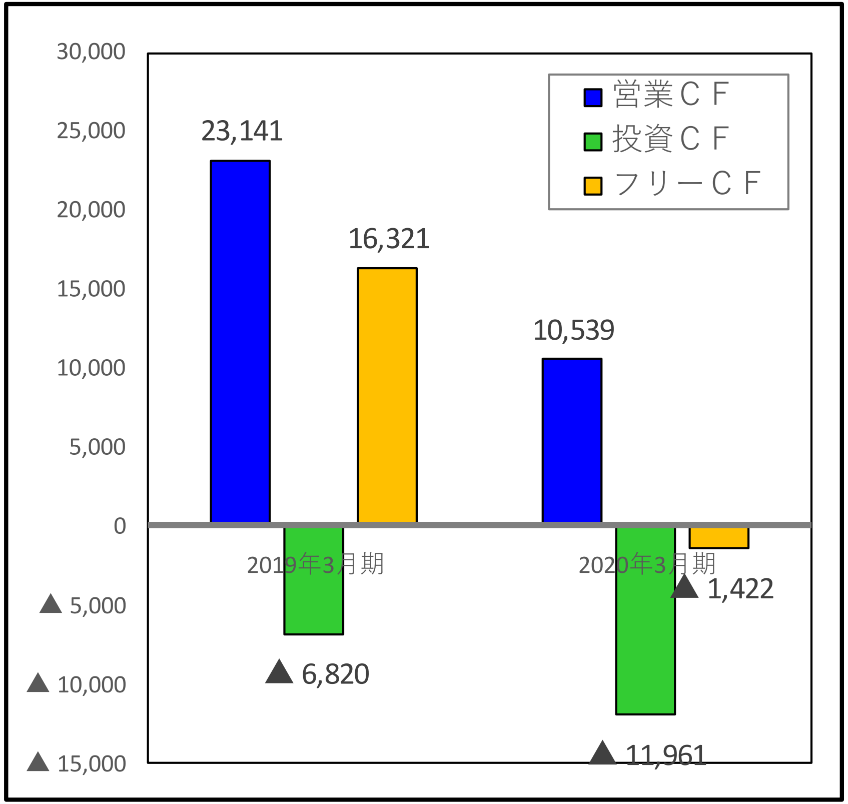
有利子負債残高	46,219	51,342	5,123
有利子負債依存度	33.7%	38.3%	4.6%

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減
支払手形・買掛金	22,838	17,427	▲ 5,411
短期借入金	12,650	20,395	7,745
1年以内長期借入金	12,660	9,740	▲ 2,920
その他	8,854	7,849	▲ 1,005
流動負債	57,002	55,412	▲ 1,590
長期借入金	19,728	19,146	▲ 582
その他	3,449	5,187	1,738
固定負債	23,177	24,333	1,156
負債合計	80,179	79,745	▲ 435
株主資本合計	42,127	41,914	▲ 213
その他包括利益累計	▲ 282	▲ 1,778	▲ 1,496
非支配株主持分	14,985	14,156	▲ 829
純資産合計	56,831	54,292	▲ 2,539
負債純資産合計	137,010	134,038	▲ 2,972

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix ～連結キャッシュフロー表（2020年3月期末実績）～

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減
営業活動キャッシュフロー	23,141	10,539	▲ 12,602
投資活動キャッシュフロー	▲ 6,820	▲ 11,961	▲ 5,141
財務活動キャッシュフロー	▲ 14,850	3,345	18,195
現金及び現金同等物に係わる換算差額	▲ 151	▲ 236	▲ 85
現金及び現金同等物の増減額	1,319	1,688	369
現金及び現金同等物の期首残高	5,871	7,191	1,320
現金及び現金同等物の期末残高	7,191	8,879	1,688



Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix ～会社概要～

会社名	株式会社エフテック
市場区分	東証一部(7212)
資本金	67.9億円
代表者名	代表取締役社長　福田祐一
売上高(連結)	2,187億円(2020年3月期)
従業員数(連結)	8,750人(単体:1,077人) ※単体:国内エフテックのみ(子会社、海外駐在員含まず)
設立年月日	1947年7月1日
本社所在地	〒346-0194 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼19番地
主要取引先	本田技研工業株式会社、ゼネラルモーターズ社、 日産自動車株式会社、トヨタ自動車株式会社、etc.
主要製品	自動車向け足回りサスペンションアーム、 サブフレーム、アクスルビーム、ペダルコントロール等

2020年3月末現在

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix ～沿革～

Ftech

創業期（1947-1964）	四輪事業創業期（1965-1987）	得意先・事業地域多様化期（1988-1999）	グローバル展開拡大期（2000- 現在）

1947
福田製作所
金属玩具
製造開始

1959
ホンダ取引開始

2輪部品
製造開始

1964
福田プレス工業に
改称

1965

4輪部品
製造開始

1967

亀山事業所量産

1978

本社移転　久喜へ

1987

F&P Mfg
（カナダ）操業

1989
Ftech
エフテックに改称

1991
三菱・スズキ取引開始

1993

F&P America操業

1994

Ftech Philippine操業

1995
日産車体取引開始

1996
株式店頭登録

1997
Dyna-Mig操業

1999
ダイハツ取引開始

2000
東証二部上場
日産自動車取引開始

2001
TOYOTA North America取引開始
ゼネラルモーターース取引開始

2002
偉福科技工業（中山）操業

2003
R&D North America設立

2004
偉福科技工業（武漢）操業

2006
F-TECH MFG（THAILAND）操業
東証一部上場

2008
Ftech R&D Philippines設立
煙台福研模具有限公司設立

2011
偉福汽車技術開発有限公司設立

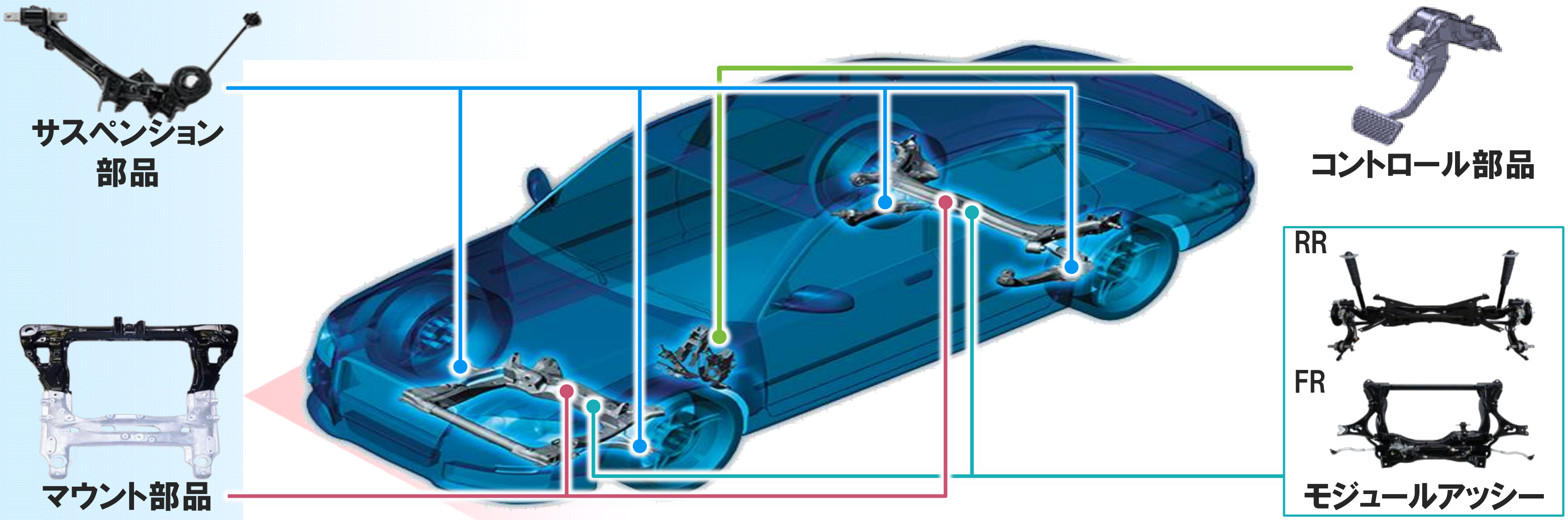
2012
F&P MFG.DE MEXICO設立

2013
PT.F.TECH INDNESIA
設立

2014
R&D NA Europe
Branch 設立

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix　～当社の四輪部品～



**当社の製品は、「走る」・「曲がる」・「止まる」の基本機能を司る、
重要保安部品であり、より高い操縦安定性や乗り心地、
衝突時の安全性を考慮した最適仕様を目指しています。**

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix ～当社の業容(シャーシ部品開発・生産)～

製品開発 → 塑性成形 → 接合 → 塗装 → 組立

製品の企画開発から量産まで、全工程を独自の一貫加工体制で対応、
圧倒的に競争力の高い製品をスピーディーに提供しています。

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

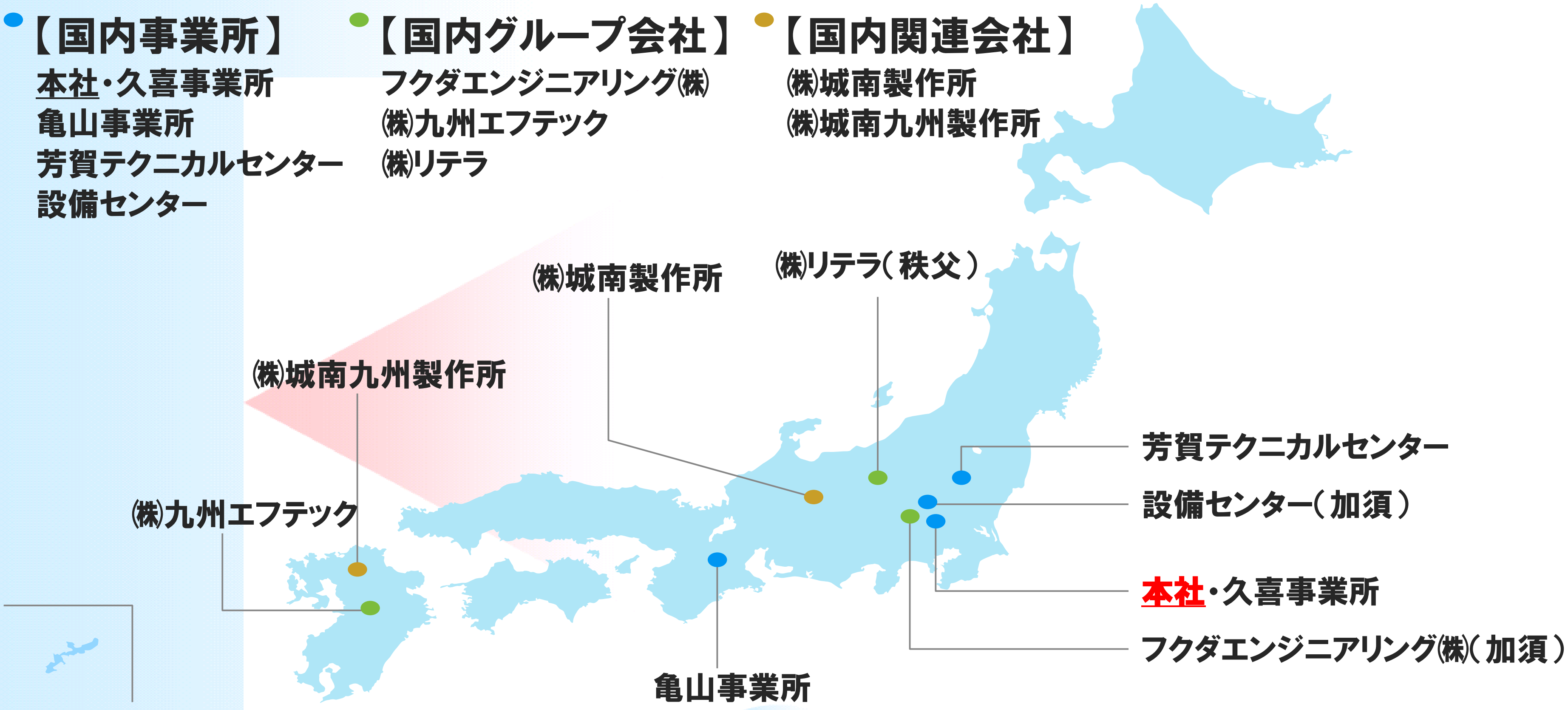
Appendix　～当社グループの国内拠点～

F.tech

【国内事業所】
本社・久喜事業所
亀山事業所
芳賀テクニカルセンター
設備センター

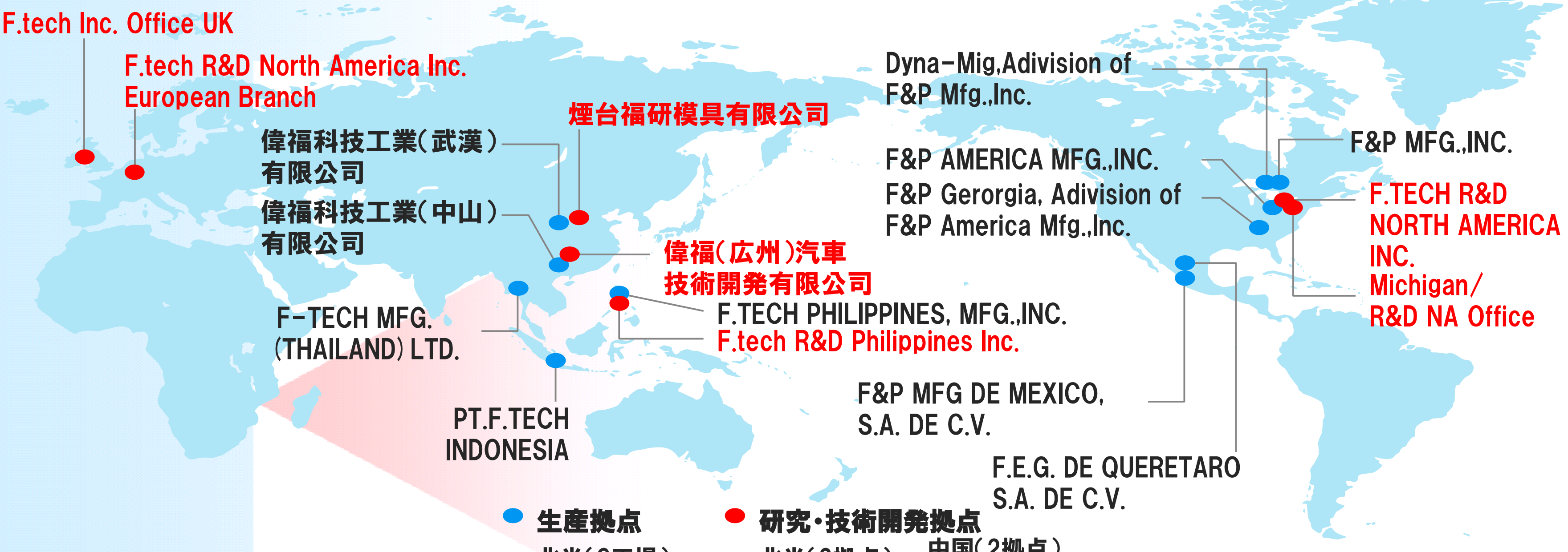
【国内グループ会社】
フクダエンジニアリング㈱
㈱九州エフテック
㈱リテラ

【国内関連会社】
㈱城南製作所
㈱城南九州製作所



Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix ～当社グループのグローバル拠点～



生産拠点
北米(6工場)
中国(2工場)
アジア(3工場)

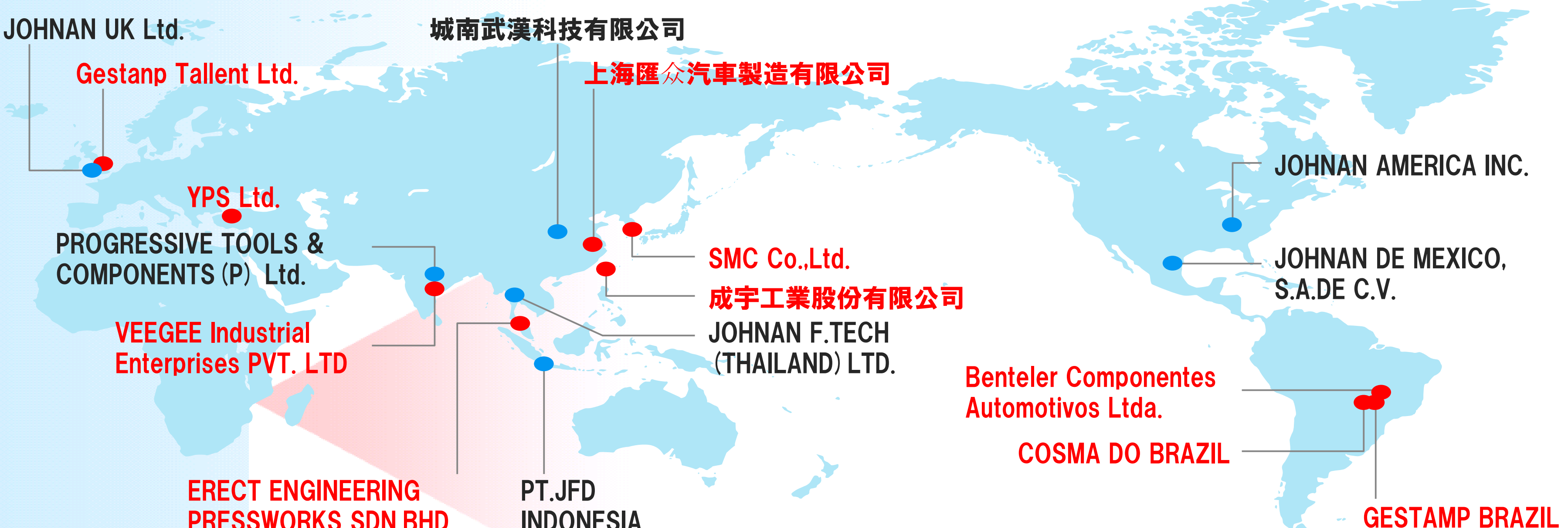
研究・技術開発拠点
北米(2拠点)
アジア(1拠点)
中国(2拠点)
欧州(2拠点)

世界9カ国11生産拠点、7研究・技術開発拠点を有しています。

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix　～当社関連会社、技術提携企業～

F.tech



● 関連会社
北米（2社）
アジア（3社）
中国（1社）
欧州（1社）

● 提携企業
南米（3社）
アジア（4社）
中国（1社）
欧州（2社）

7か国・1地域での提携関係により、当社製品の世界供給体制を構築

Copyright (c) 2020 F-TECH INC. All Right Reserved